

2023年3月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社キトー（6409）

2022年8月5日

2023年3月期 第1四半期 サマリー

(単位：百万円)	2022/3 期 1Q	2023/3 期 1Q	前期比
売上高	13,797	16,756	+21.4%
営業利益	992	860	△13.2%
経常利益	972	1,215	+25.0%
当期純利益※	660	819	+24.1%

※親会社株主に帰属する四半期純利益

- 売上高、および経常利益、当期純利益は過去最高を更新
- 堅調な北米・欧州の需要環境を受け、工場は増産体制を継続
- 生産効率向上と販売価格見直しにより利益率確保に注力
- 経営統合に向けたアドバイザー費用計上により営業利益が減少

1

2023年3月期 第1四半期 決算報告

2

2023年3月期 見通し

3

参考資料

- 過去5期分の業績・財務情報（2018年3月期-2022年3月期）
- 事業内容について

2023年3月期 第1四半期 決算ハイライト

(単位 百万円)	2021/3期Q1	2022/3期Q1	2023/3期Q1	前期比
売上高	10,058	13,797	16,756	+21.4%
売上総利益 売上総利益率	3,576 35.6%	4,735 34.3%	5,810 34.7%	+22.7%
営業利益 営業利益率	224 2.2%	992 7.2%	860 5.1%	△13.2%
経常利益 経常利益率	222 2.2%	972 7.0%	1,215 7.3%	+25.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 当期純利益率	△322 △3.2%	660 4.8%	819 4.9%	+24.1%
EBITDA =営業利益+償却費	951	1,761	1,632	

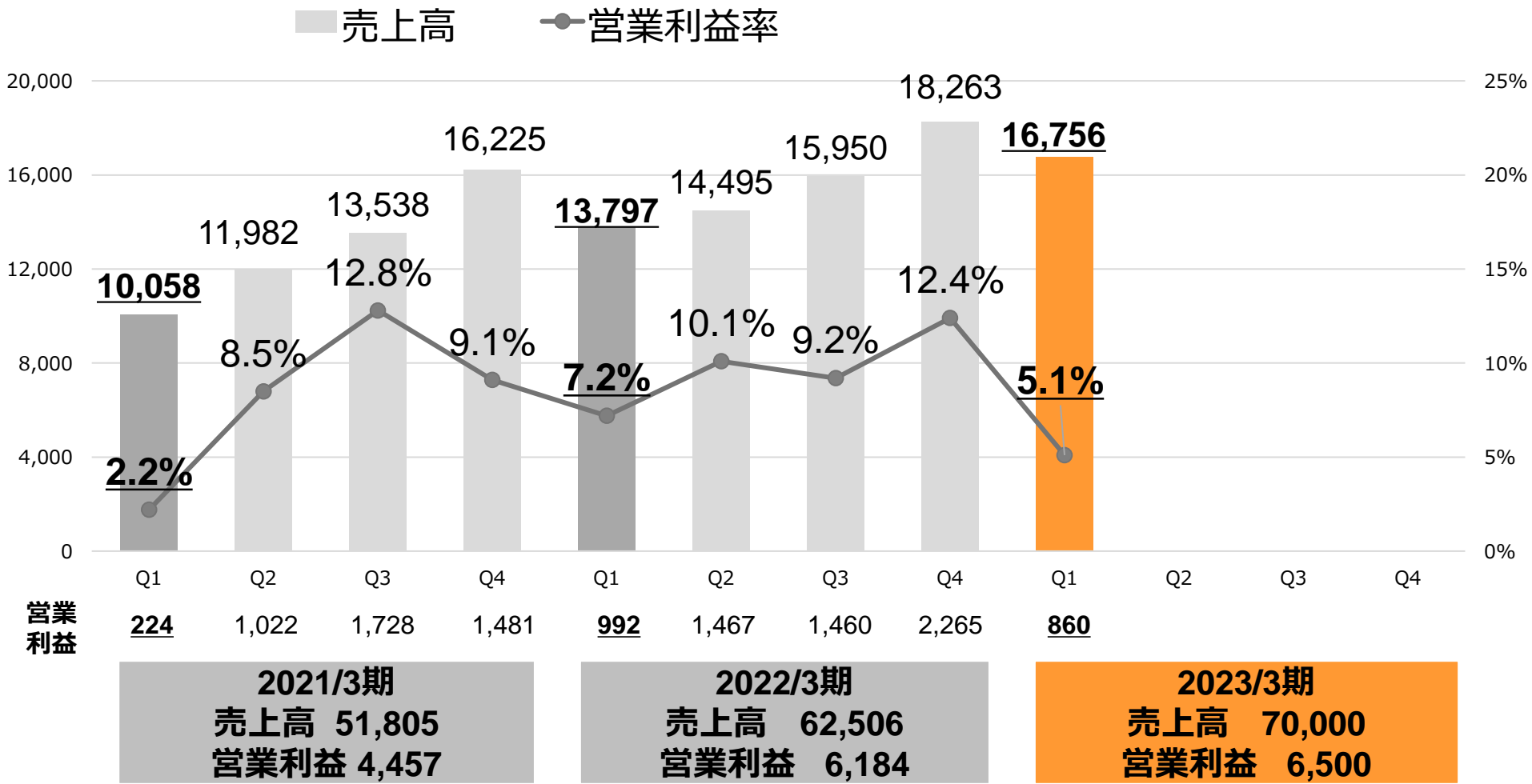
注 為替レート (2022/3期Q1→2023/3期Q1) :

USD 109.5→129.6円 CAD 89.2→101.5円 EUR 132.0→138.1円 RMB 16.4→18.3円

売上高および営業利益率（四半期比較）

回復需要を着実に捉え、過去最高となった前年同期の売上高を大幅に更新
 経営統合に向けたアドバイザー費用を計上

(単位：百万円)

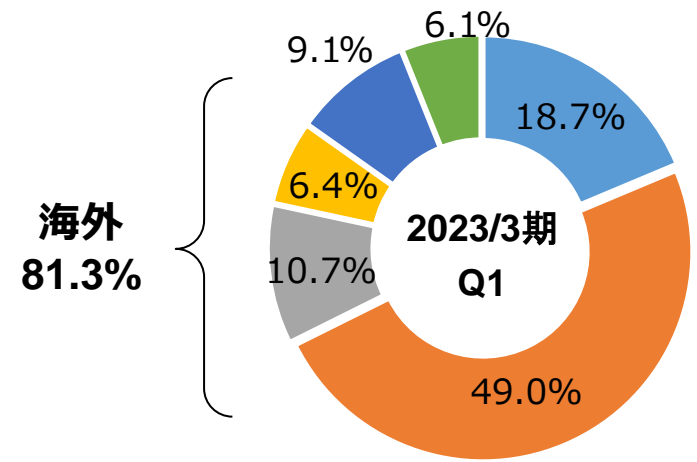
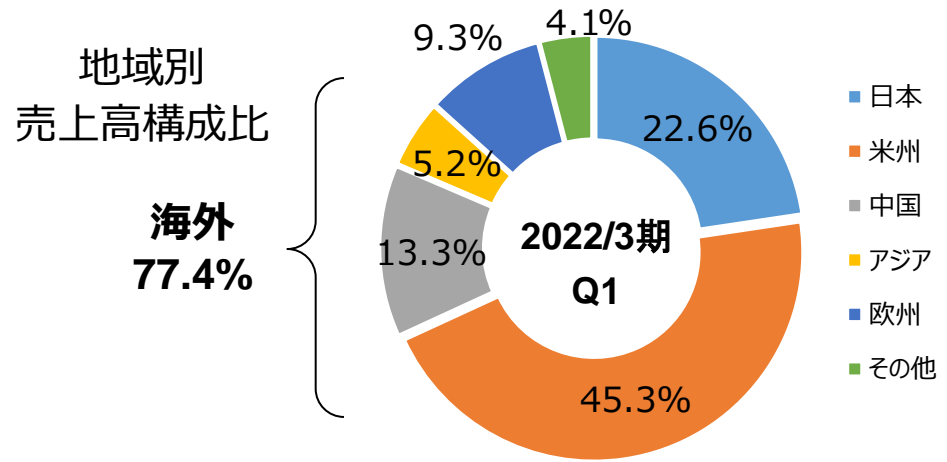


地域別の状況

(単位：百万円)	2021/3期 Q1		2022/3期 Q1		2023/3期 Q1		前期比	
		構成比		構成比		構成比	増減額	増減率
売上状況	10,058	100.0%	13,797	100.0%	16,756	100.0%	2,959	21.4%
日本	2,818	28.0%	3,123	22.6%	3,133	18.7%	9	0.3%
米州	4,202	41.8%	6,277	45.5%	8,214	49.0%	1,937	30.9%
中国	1,278	12.7%	1,835	13.3%	1,797	10.7%	△ 37	△ 2.0%
アジア	663	6.6%	723	5.2%	1,062	6.4%	338	46.8%
欧州	694	6.9%	1,277	9.3%	1,530	9.1%	252	19.8%
その他地域	401	4.0%	559	4.1%	1,018	6.1%	458	81.9%

注 為替レート (2022/3期Q1→2023/3期Q1) :

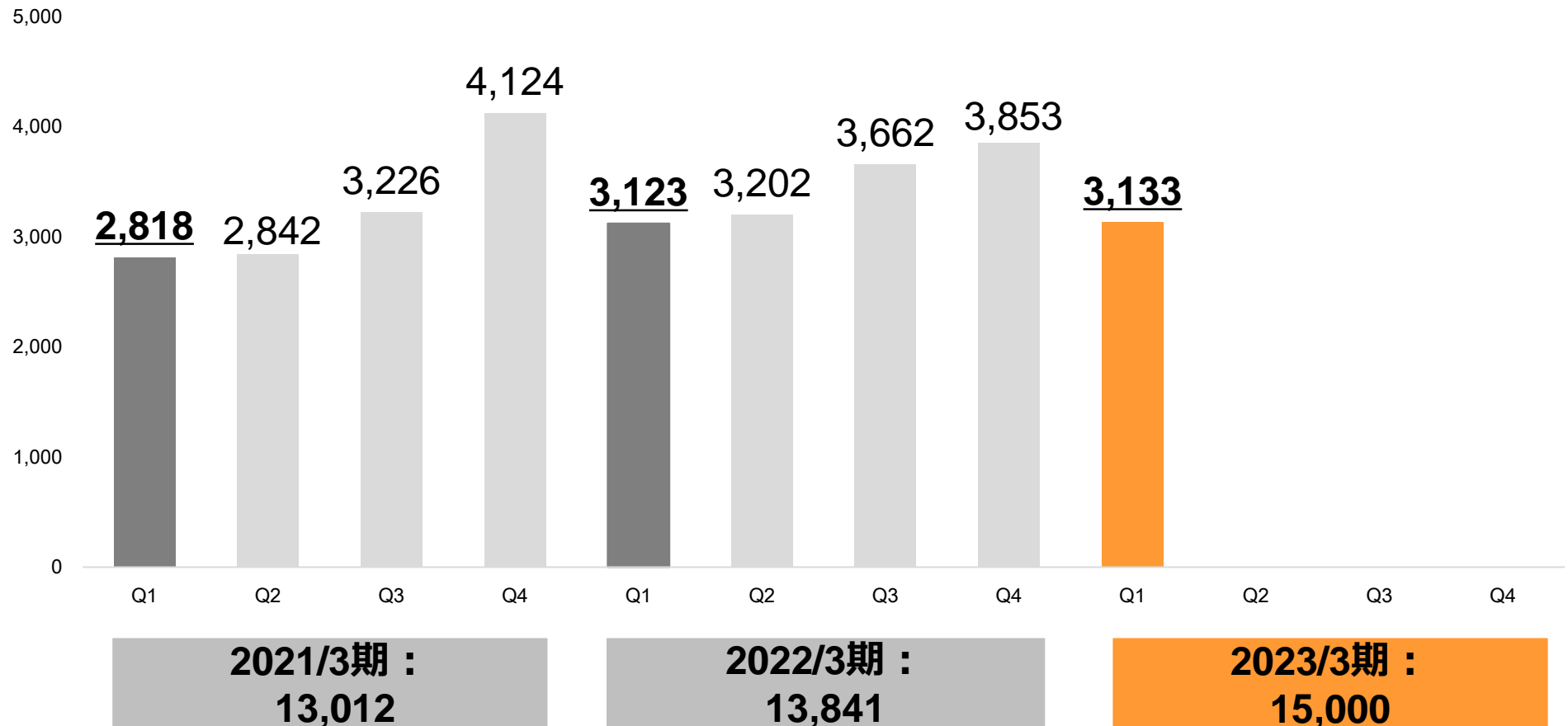
USD 109.5→129.6円 CAD 89.2→101.5円 EUR 132.0→138.1円 RMB 16.4→18.3円



地域別売上高（日本）

- 半導体不足の影響から自動車関連をはじめ、幅広い産業界において減産傾向
- 都市部を中心とした、オフィスビル等の建設需要が回復の兆し

（単位：百万円）



地域別売上高（米州）

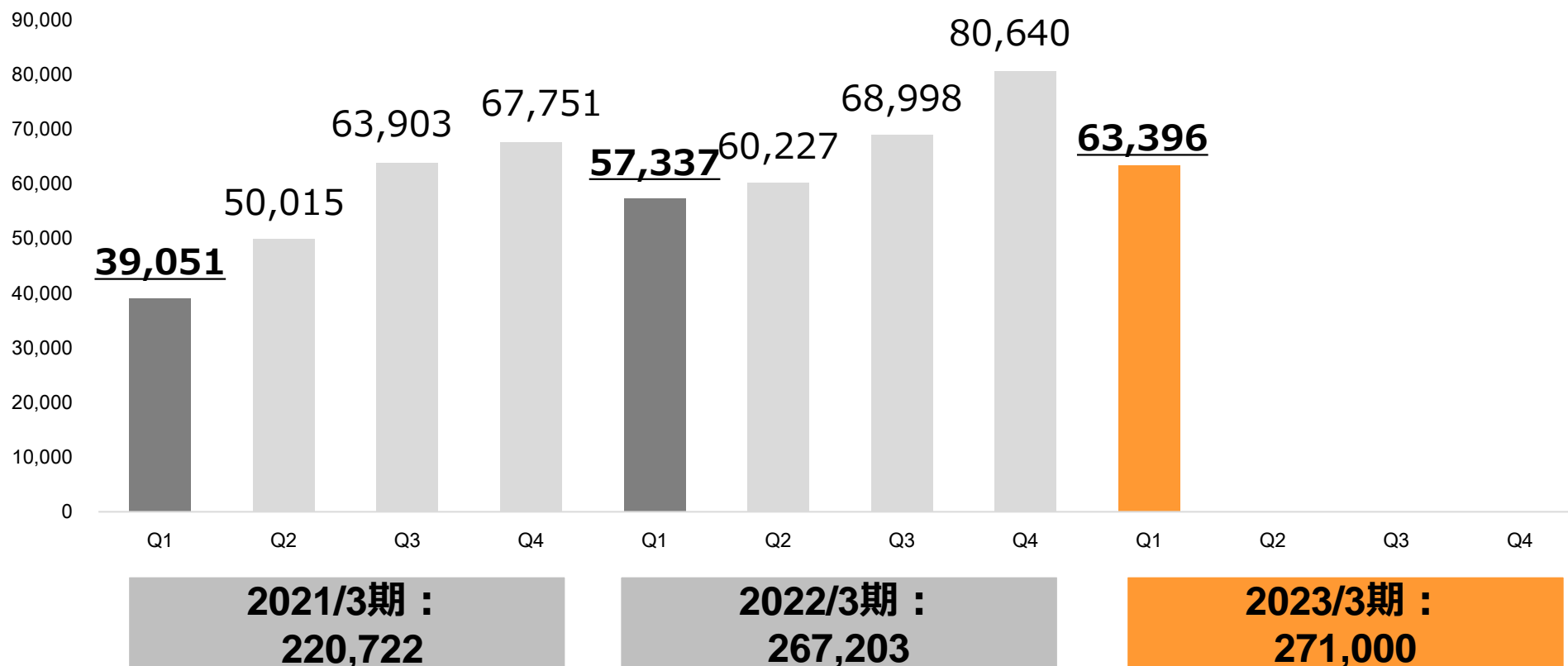
※グラフは米国市場売上高にカナダ及び中南米市場（USDドル換算）を加算した金額の推移

◇米州事業の特徴

日本と同様にホイストを中心としたマテハン事業に加えて、ピアレス社のクサリ関連事業で構成

- 民間設備投資、インフラ投資需要とも、引き続き堅調に推移
- 物流の混乱も、製品供給をはじめ、サービスレベル維持に注力

（単位：千USD）



地域別売上高（中国）

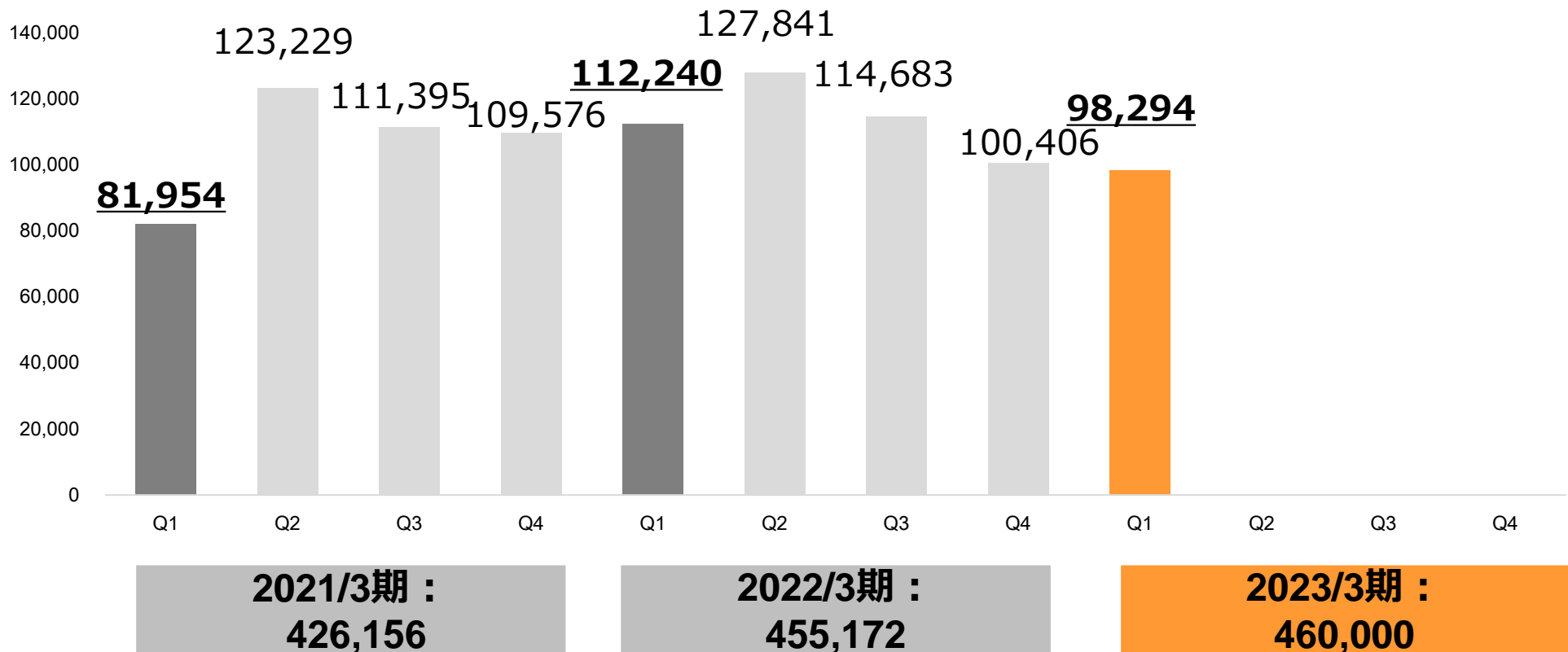
※中国は1-12月決算

◇中国事業の特徴：

中国市場向けロープホイストの製造販売と、日本からの高機能製品の輸入販売が事業の2本柱

- 内需を中心とした需要動向は堅調
- 当局の徹底したコロナ対策が経済活動に影響

（単位：千RMB）



地域別売上高（アジア）

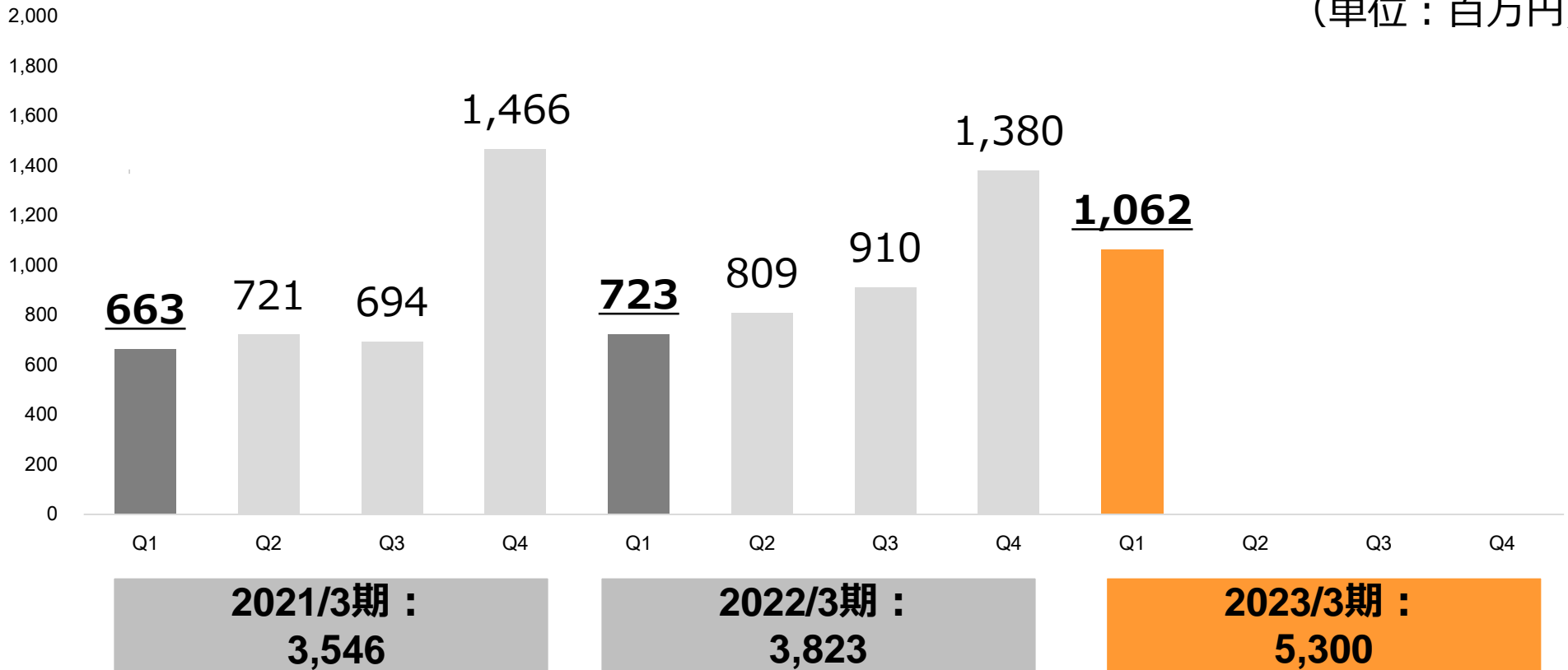
※タイ、韓国、台湾は1-12月決算、インドネシア、インドは4-3月決算

◇アジア事業の特徴：

主軸のタイ、韓国でクレーン事業を手掛ける。事業構造を見直し収益性拡大を図る。

- 経済活動の制約解除とともに、需要環境も回復傾向

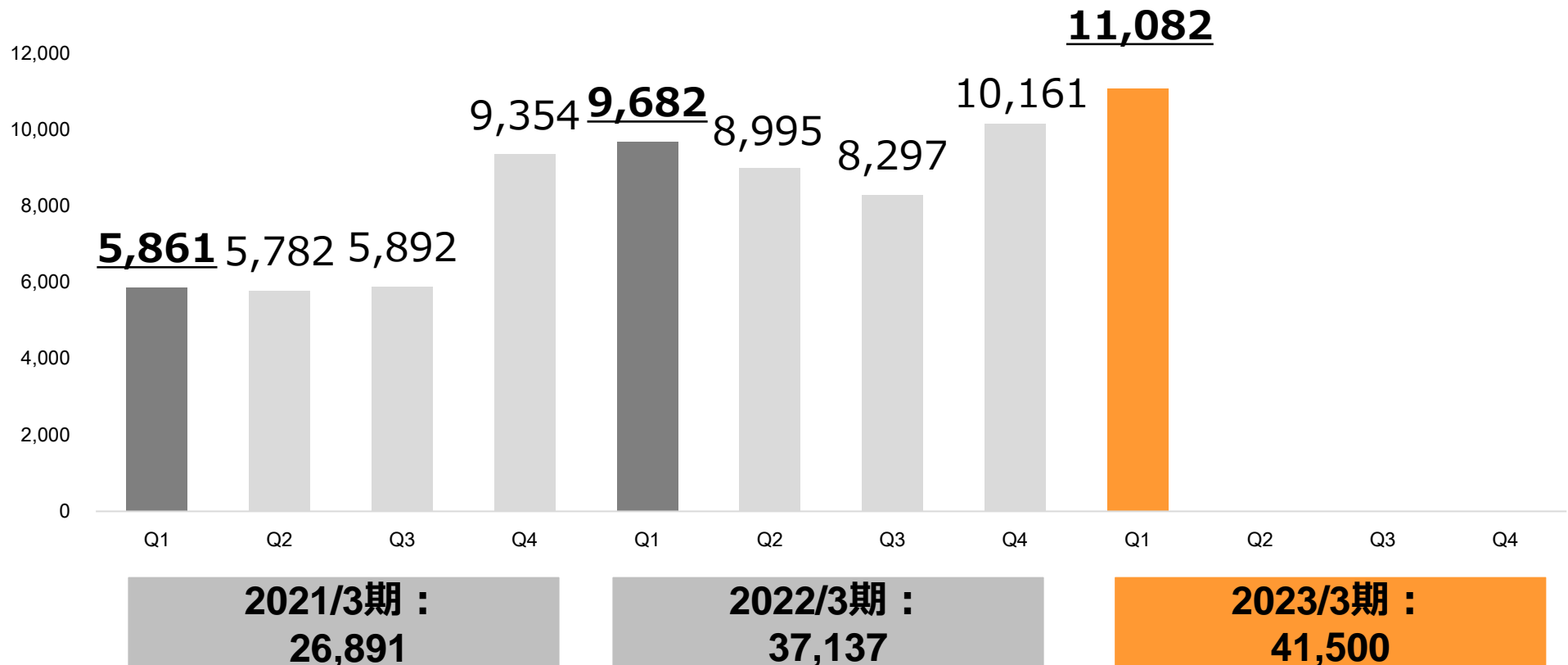
(単位：百万円)



地域別売上高（欧州）

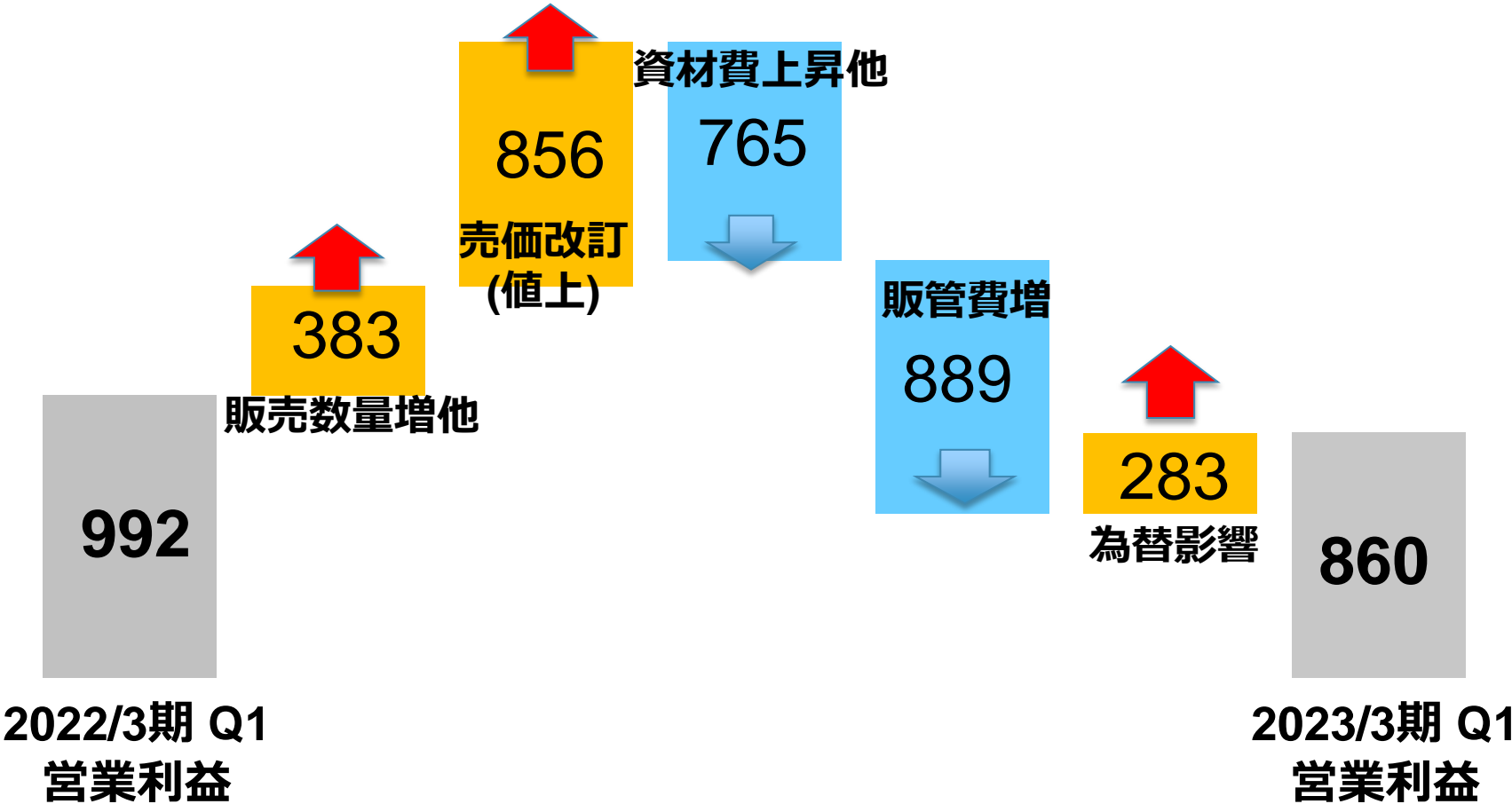
- 欧州グループ4社の強みを発揮し、堅調な需要を着実に捉える
- 資材費、エネルギー価格の高騰による利益影響が拡大

（単位：千EUR）



営業利益の比較

(単位：百万円)



2023/3期 Q1 連結貸借対照表（前期比）

単位：百万円	2022/3期 Q1	2023/3期 Q1	増減額	単位：百万円	2022/3期 Q1	2023/3期 Q1	増減額
流動資産	41,097	49,761	8,663	流動負債	16,246	23,119	6,872
現金及び預金	11,433	10,149	△ 1,284	支払手形及び 買掛金	6,032	8,361	2,329
受取手形、売掛金 及び契約資産	10,354	13,253	2,898	短期借入金*	5,008	8,077	3,069
棚卸資産	17,475	24,909	7,434	その他	5,205	6,679	1,474
その他	1,834	1,449	△ 384	固定負債	14,834	14,515	△ 319
固定資産	21,243	27,764	6,521	長期借入金	11,214	9,922	△ 1,292
有形固定資産	12,724	18,100	5,376	その他	3,620	4,593	972
無形固定資産	4,833	5,099	265	純資産合計	31,260	39,891	8,631
投資その他の資産	3,684	4,564	879	負債純資産合計	62,341	77,526	15,185
資産合計	62,341	77,526	15,185				

* 1年内返済予定の長期借入金を含む

1

2023年3月期 Q1 決算報告

2

2023年3月期 見通し

3

参考資料

- 過去5期分の業績・財務情報（2018年3月期-2022年3月期）
- 事業内容について

2023年3月期 業績予想

- 活況な需要を着実に取り込み、過去最高の業績を目指す
- ECサイト強化など、更なる顧客サービス拡充を推進
- 環境に配慮したサプライチェーン、安全な作業環境提供など、広く社会に貢献する

(単位 百万円)	2022/3期	2023/3期 (予想)	前期比
売上高	62,506	70,000	12.0%
営業利益 営業利益率	6,184 9.9%	6,500 9.3%	5.1%
経常利益 経常利益率	6,415 10.3%	6,400 9.1%	△0.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益 当期純利益率	4,563 7.3%	4,200 6.0%	△8.0%
EBITDA =営業利益+償却費	9,148	9,400	2.8%
設備投資	4,523	5,800	

注 為替レート (2022/3期→2023/3期) :

USD 112.4→120.0円 CAD 89.7→100.0円 EUR 130.6→135.0円 RMB 17.0→20.0円

日本 売上予想 15,000百万円（前期比+8.4%）

- 市場環境**
- 都市開発、公共工事に伴うインフラ関連工事が顕在化
 - 中小企業を主体とした景気回復に期待
- 取り組み**
- 専任営業による大型物件への営業力強化
 - リプレイス需要の着実な取り込み
 - ECサイトの拡充・推進によるさらなる顧客サービスの向上

米州 売上予想 32,500百万円（前期比+8.2%）

- 市場環境**
- 民間、インフラ関連投資ともに力強い需要動向が継続
 - 資材費高騰、物流の混乱、労働力不足問題は引き続き注視
- 取り組み**
- 競合との差別化を図り、シェアUPと市場拡大との相乗効果を狙う
 - 販売価格の見直し、製品の安定供給と顧客サービス維持に注力

中国 売上予想 9,200百万円（前期比+18.8%）

- 市場環境** - 環境、品質に対する意識の高まりによりシェア拡大傾向
- 取り組み** - 安全価値の訴求による差別化戦略強化

アジア 売上予想 5,300百万円（前期比+38.6%）

- 市場環境** - 韓国の液晶関連需要は回復傾向
- 長期に渡る経済活動の足踏み状態からの脱却
- 取り組み** - クレーンのメンテナンスなどサービス事業、ホイスト販売の強化
- タイ、韓国における顧客基盤拡大を推進

欧州 売上予想 5,600百万円（前期比+15.5%）

- 市場環境** - 地政学的な懸念はあるも、需要動向は堅調
- エネルギー、資材価格高騰の影響に注視
- 取り組み** - グループ会社間連携による相乗効果で、さらなる事業拡大

2023年3月期 業績予想 (地域別)

(単位：百万円)	2022/3期		2023/3期 (予想)		前期比	
		構成比		構成比	増減額	増減率
売上状況	62,506	100.0%	70,000	100.0%	7,494	12.0%
日本	13,841	22.1%	15,000	21.4%	1,159	8.4%
米州	30,025	48.0%	32,500	46.5%	2,475	8.2%
中国	7,747	12.4%	9,200	13.1%	1,453	18.8%
アジア	3,823	6.1%	5,300	7.6%	1,477	38.6%
欧州	4,848	7.8%	5,600	8.0%	752	15.5%
その他地域	2,220	3.6%	2,400	3.4%	180	8.1%

注 為替レート (2022/3期→2023/3期) :

USD 112.4→120.0円 CAD 89.7→100.0円 EUR 130.6→135.0円 RMB 17.0→20.0円

1

2023年3月期 Q1 決算報告

2

2023年3月期 見通し

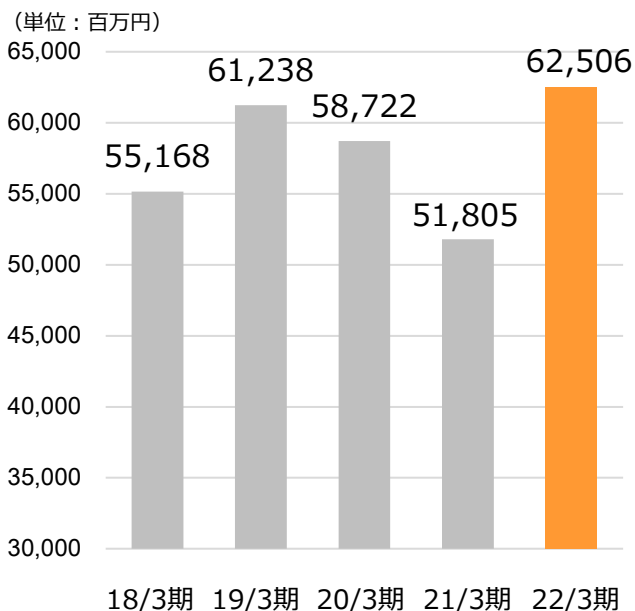
3

参考資料

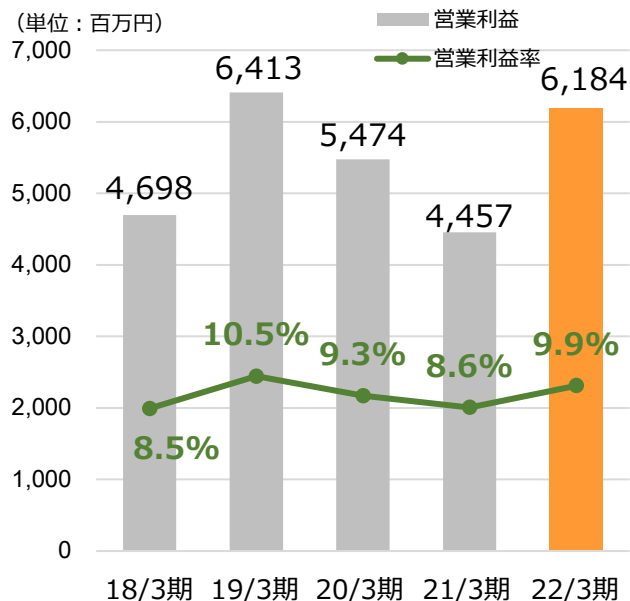
- 過去5期分の業績・財務情報（2018年3月期-2022年3月期）
- 事業内容について

業績・財務情報

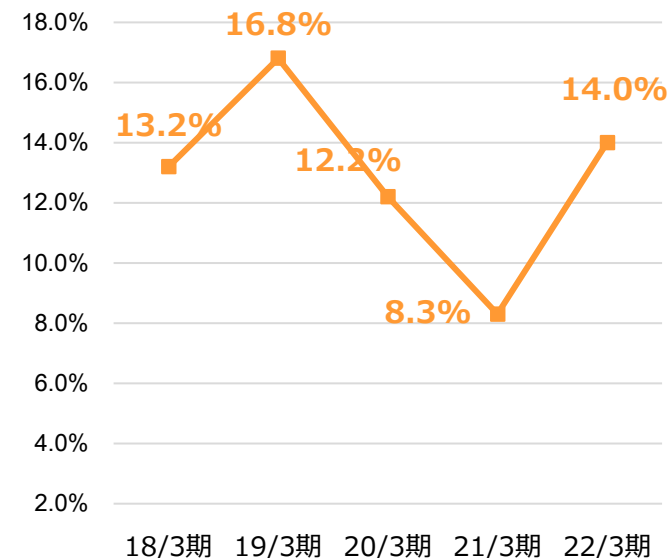
売上高



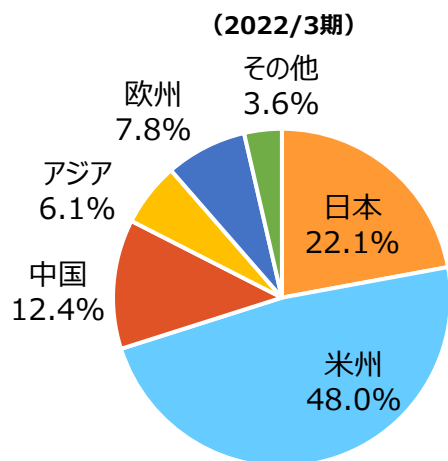
営業利益・営業利益率



ROE



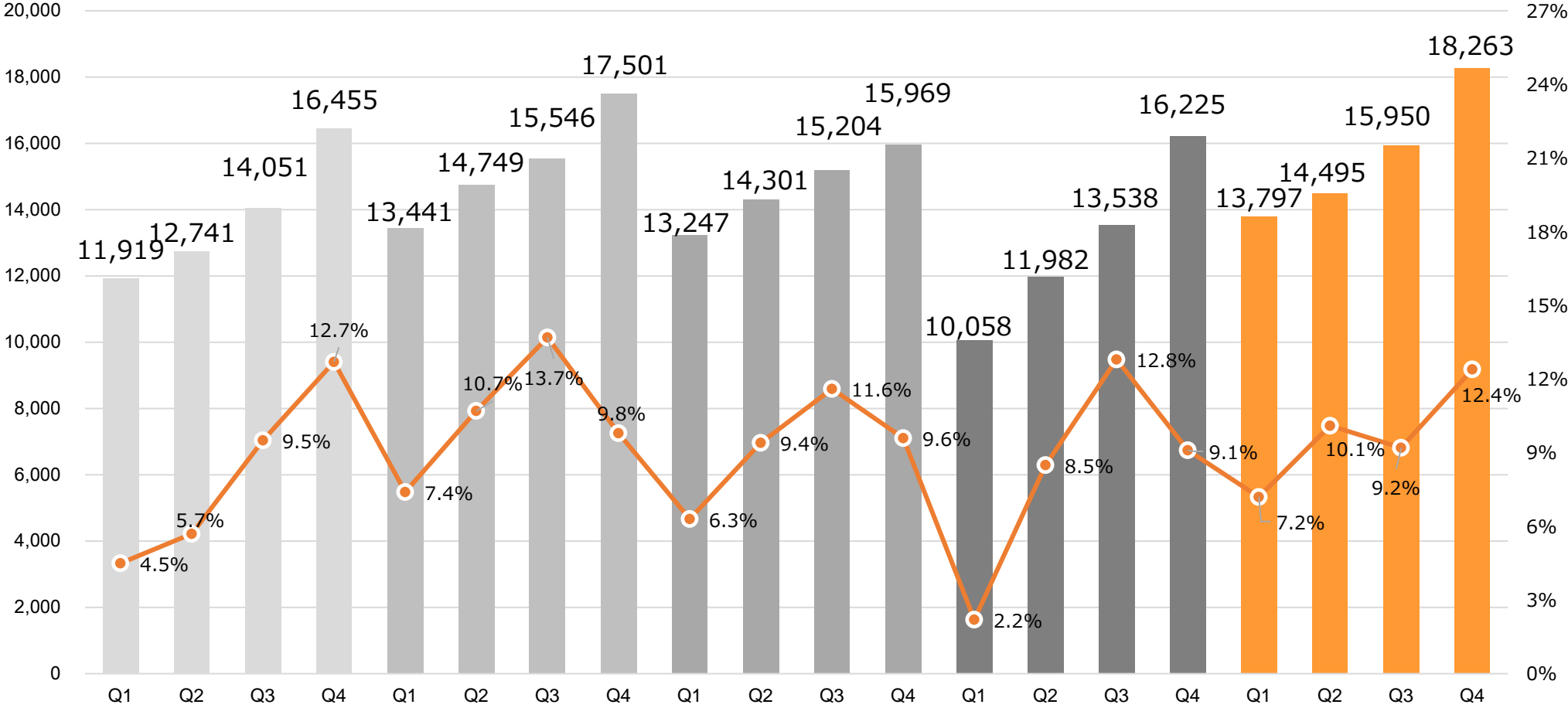
地域別売上高比率



	2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期
海外比率	76.0%	73.6%	74.2%	74.9%	77.9%
為替平均レート					
USD	110.9円	110.9円	108.7円	106.1円	112.4円
CAD	86.5円	84.6円	81.8円	80.3円	89.7円
EUR	129.7円	128.4円	120.8円	123.7円	130.6円
RMB	16.6円	16.7円	15.8円	15.5円	17.0円
設備投資額(百万円)	1,411	1,416	1,689	2,504	4,510
減価償却費(百万円)	2,116	2,470	2,711	2,697	2,647

売上高 及び 営業利益率 (四半期比較)

(単位：百万円)

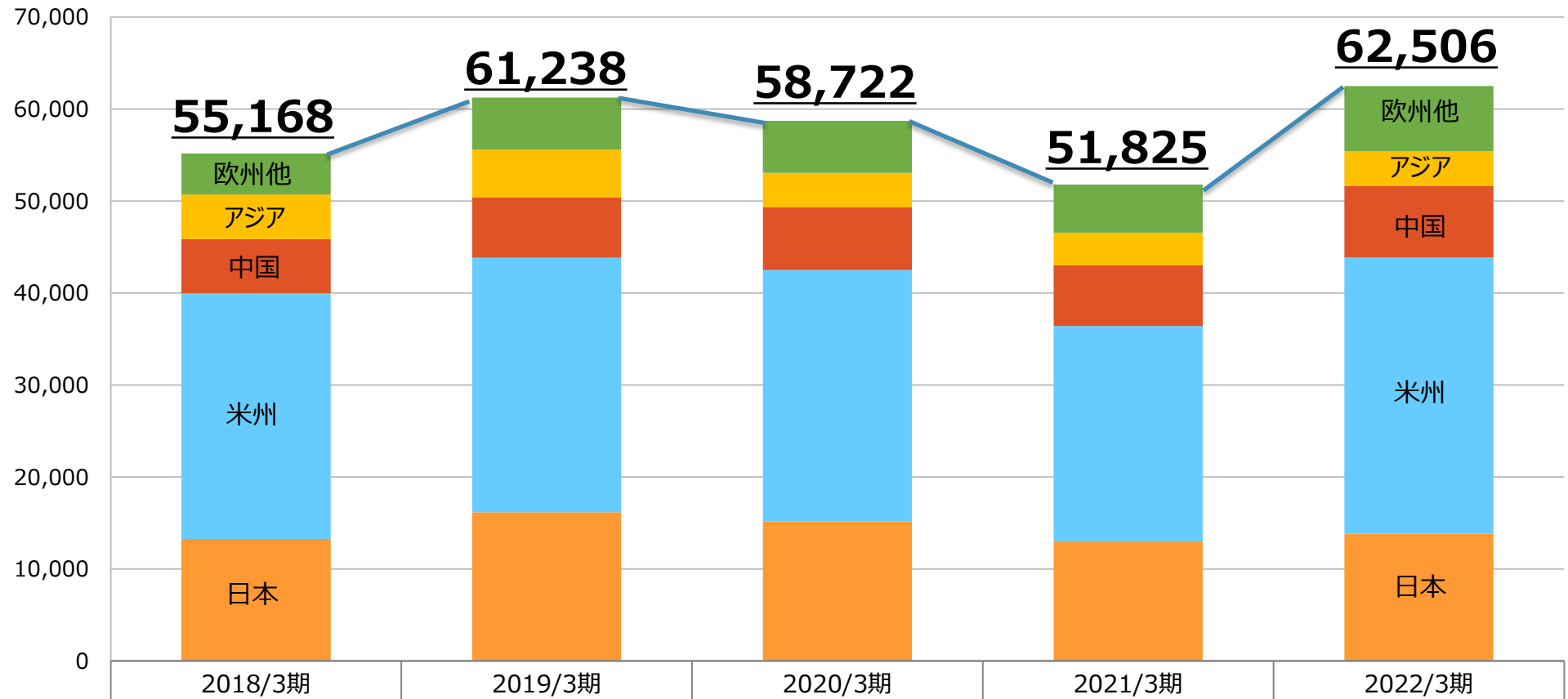


営業利益

538	730	1,338	2,092	992	1,572	2,131	1,717	837	1,339	1,769	1,526	224	1,022	1,728	1,481	992	1,467	1,460	2,265
2018/3期 売上高 55,168 営業利益 4,698				2019/3期 売上高 61,238 営業利益 6,413				2020/3期 売上高 58,722 営業利益 5,474				2021/3期 売上高 51,805 営業利益 4,457			2022/3期 売上高 62,506 営業利益 6,184				

地域別売上高推移

(単位：百万円)



	2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期
■ 欧州他	4,465	5,634	5,663	5,239	7,068
■ アジア	4,837	5,239	3,729	3,546	3,823
■ 中国	5,903	6,539	6,822	6,596	7,747
■ 米州	26,700	27,663	27,332	23,409	30,025
■ 日本	13,261	16,162	15,174	13,012	13,841

事業内容

モノを持ち上げ、運び、固定する作業に不可欠な、 マテリアルハンドリング機器の リーディングカンパニー



経済の発展段階に応じた需要

特定の業界の動向に依存せず

成熟製品でありながら成長産業

■ クレーン

ホイストとの組合せで3次元の動きを実現



■ ホイスト（巻上機）

主力はクサリ（チェーン）式（電動・手動）
ワイヤロープ式もラインナップ（電動）
（中国においてはロープ式が主力）



■ ビローフックデバイス （吊り具）

ホイストで荷物を吊り上げる際の
中間アタッチメント



■ 各種クサリ製品

運搬・移動・固定・牽引
船舶、農林業、タイヤチェーンなど



顧客ニーズの拡大



“KITO” = “信頼のブランド”

製品力

- 耐久性
- 高性能
- 安全性
- 操作性

技術力

顧客の複雑なニーズへの高い技術対応力（エンジニアリング）

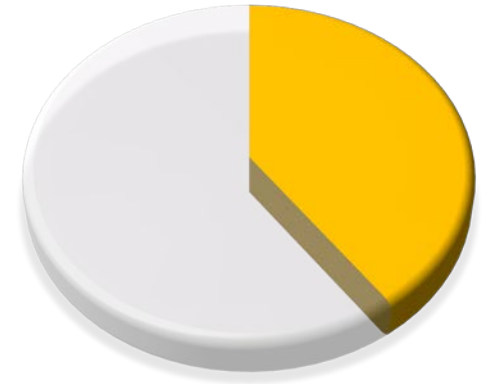
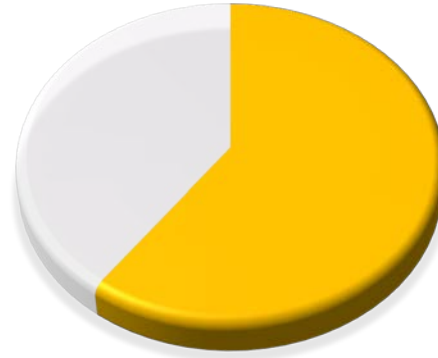
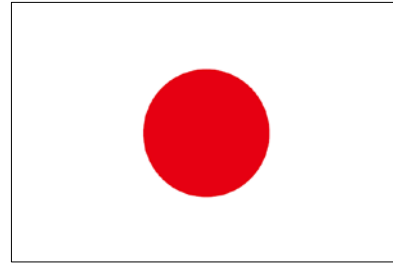
サービスネットワーク

広範なネットワークによる顧客満足度の高いサービスを実現



高付加価値製品・サービスの提供により差別化を実現
高品質市場での高い評価

信頼に基づく高いシェア

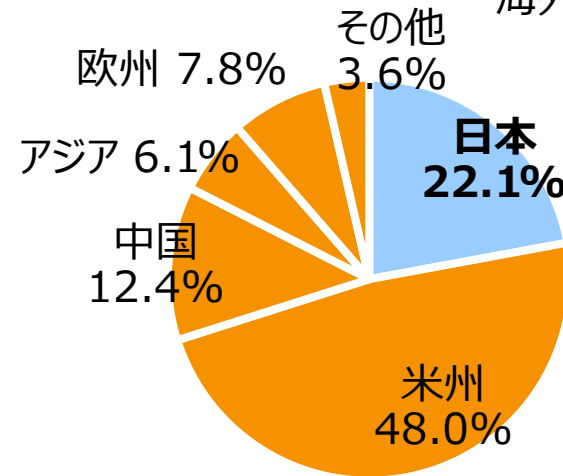
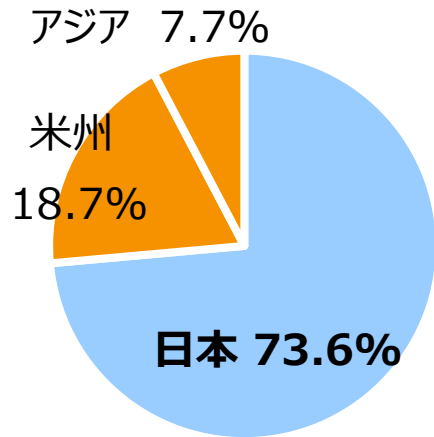


海外市場での成長

- 海外市場での成長により、地域分散の効いた事業ポートフォリオ構築
- 特定地域の需要動向に振られることなく、着実な成長を実現

FY2000 売上高227億円
海外売上比率 26.4%

FY2021 売上高625億円
海外売上比率 77.9%



単位: 10億円

